

小樽南ロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう



2023-2024 年度 R I 第 2 5 1 0 地区 目標

1. クラブの戦略計画を打ち立て、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジを見つけよう

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会 Facebook
各委員会へのメール



重点項目

女性会員比率10%達成
ローターアクトの推進
心の健康(メンタルヘルス)づくりを目指す

- 例会場：オーセントホテル小樽 ●例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
- 事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8100
- Club Homepage：URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2024年3月1日発行
通巻第3043号

27

今週 3月1日
●通常例会

来週 3月8日
●通常例会

再来週 3月15日
●夜間例会(宏楽園)

■3クラブ合同例会 2月23日

■ロータリーソング【四つのテスト】

3クラブ合同例会プログラム

■NPO 法人 OTARU CREATIVE PLUS 専務

理事 福島 慶介様卓話

テーマ：「共創の場・環境作り」～文化と経済の両輪で MIRAI を切り拓く～



・まちづくりの持論

地域にはそれぞれ異なる物語があり、様々な因果関係の総体として街 = 環境が存在する。

定性的、あるいは定量的にそのメカニズムを読み解きながら、何を捨て何を得、そしてその選択がどのような MIRAI を描くのか見極める。

・小樽のまちづくり

色褪せたモザイクの港町、小樽で「文化と経済の両輪」を掲げ活動。港町本来の内外の活発な交流から生み出される色鮮やかなモザイク模様の再興を目指して第3倉庫を一連の活動の着地点に位置付け。

・小樽の実情

- ① 人口減少・少子高齢化の過疎化地域 (2012年～)
 - ② 小樽なんて... な人が多くプレイヤーが少ない
 - ③ リテラシーとクリエイティビティが足りない
- 人・団体同士の繋がりや新しい事が生まれにくい。
※出来事が少ない環境=経験が育まれない/個に執着がいく

・とはいえ、小樽はここから面白い

～閉じられた雰囲気から開かれた環境に～

「港エリアは物流から人流へ大変革中」

「若者や専門家の集まる組織が生まれ、連携」



・小樽に戻った理由

何度も東京に戻ろうと思ったのは事実ですが...

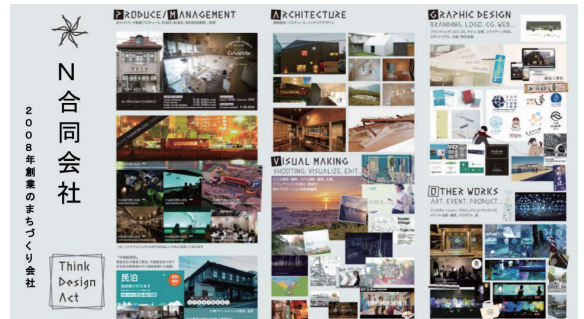
「ナンバーワンよりオンリーワンを目指して。」
「東京では自分の代わりはいるが、小樽にはいない？」
「恵まれた街故に、育まれない諸々を解消したい。」
「自分が得た経験や知識などを地元に戻元したい。」

・デザイン*まちづくり

様々なアプローチで街の資源を活用

→街を良くしていくための活動がメイン。

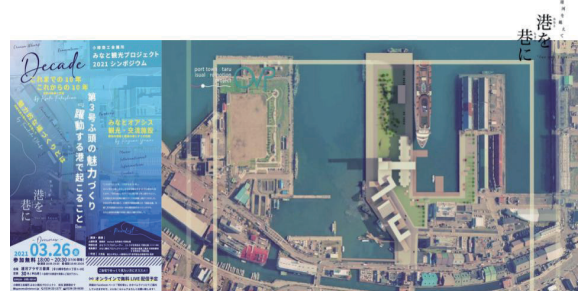
ロゴデザインから空間演出までより効果的と思われる手法を必要に応じて。



・商工会議所 P J による港エリア再考

「第3号ふ頭基部を物の空間から人の空間へ」

→心地良い水際に魅力的な空間作りで港を巷に。歴史的建造物集積地の北運河にも魅力作りを。小樽は港町のモザイク的な魅力が色褪せている。



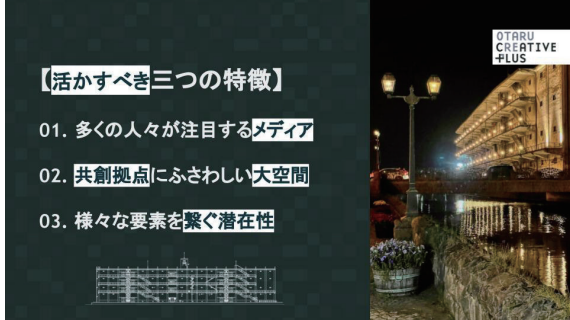
第3号ふ頭周辺の未来像を描き、映像発信と共に港への市民意識喚起を続ける

・OC+とは？

小樽の様々な「ヒト・モノ・コト」を「繋ぎ、混ぜ、共創する」ことでまちづくりの大きな輪を作りながら『世界に誇れる小樽』を目指す組織です。

・第3倉庫活用ミーティングの後継組織として

OC+ は、第3倉庫の利活用を小樽市と連携協定を結び推進する専門性の高い組織でもあります。様々な個人や組織と協働しながら共創拠点を築きます。



・これまでの100年

Point.01

物流港として整備が進むにつれ、水際がモノのための場となりヒトの賑わいが消え、コトも単純化（合理化）していった。小樽本来の水際の雑多な魅力（色気）が消えてしまった。

Point.02

運河論争のおかげで運河が半分残り、小樽らしい景観を保ちながらも、港（水際）と街の連続性を生み出せる「現在の姿」が残った。そして何より、市民の声が街を変えろという大切な物語と精神を残してもらえた。

・これからの100年

Point.01

人流起点に変わる第3号ふ頭から徒歩圏内にある第3倉庫が新たな拠点となれば北運河を網羅する徒歩圏を生み出せる。（第3号ふ頭／旧小樽倉庫 — 第3倉庫 — 旧日本郵船）

Point.02 「市民の声」と「声を形にする専門家」。

第3倉庫を市民中心の共創拠点へ。

・今年度の成果と来年度の目標

2023年度

市が改修をしたおかげで社会実験が可能に。アンケート等により市民意見を沢山集められた。また、今後の展開に向け分区条例等の議論も。

2024年度

大規模改修へ向けてより専門的な議論で計画作り。引き続き社会実験を行い、少しずつ設備投資も。10月31日の100周年へ向けたイベント造成。OC+と連携する株式会社の設立も検討中。



3クラブ合同懇親会

日時：2月23日 17:45～

場所：グランドパーク小樽 樹林の間

懇親会の様子



三栖会長挨拶



テーブル対抗クイズ大会



ロータリーソング「手に手つないで」

